

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

FINE FINET

[FINET VAN SERVICE]

**いま使っているEDIの機器は
いつまで使える?!**

EDIのすすめ〈第3回〉

【標準化】の扉 III

[HELPDESK NEWS]

『インフォメーションメール設定』通知先メールアドレス登録数変更のお知らせ!

[FINET INFORMATION]

情報セキュリティ強化のための内部監査への取組み



Vol. **36**
2015 Autumn
ファイネット発行

2020年に 潜む課題

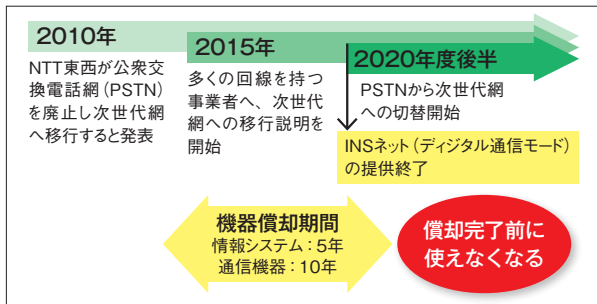
いま使っているEDIの機器は いつまで使える?!

5年後の2020年には、NTTの公衆交換電話網 (PSTN) の廃止・次世代網への移行が予定されています。「インターネット手順」への移行をお勧めいたします。

知っていますか?

東京オリンピックが開催され、東京都の人口も1336万人とピークを迎える2020年。日本にとって大きな節目となるであろうこの年に、わたしたちの生活を支えてきたインフラの1つが終了する予定になっています。背景には「PSTNマイグレーション」という言葉で2010年頃から公表され、NTT東日本・NTT西日本 (以下、NTT) が取り組んできた、公衆交換電話網 (PSTN: Public Switched Telephone Network) の廃止、光ブロードバンドネットワークを前提とした次世代網への移行活動があります。

この通信網の移行にあたっては、音声通話など基本的な電話のサービスは代替手段を用意するなど継続提供されることになっています。一方で、利用者が減少している「INSネット (デジタル通信モード)」については、すでにサービス終了との方針になっており、ファイネットもNTTより、2020年度の後半を目途に提供終了予定 (詳細未定) であると通知を受けています。



この「PSTNマイグレーション」により、長い間EDIを行う際に使われてきた「全銀協TCP/IP手順」「JCA手順」といった通信プロトコルで利用されている機器が使えなくなっていきます。

この「PSTNマイグレーション」により、長い間EDIを行う際に使われてきた「全銀協TCP/IP手順」「JCA手順」といった通信プロトコルで利用されている機器が使えなくなっていきます。

なぜ「PSTNマイグレーション」は行われるのか?

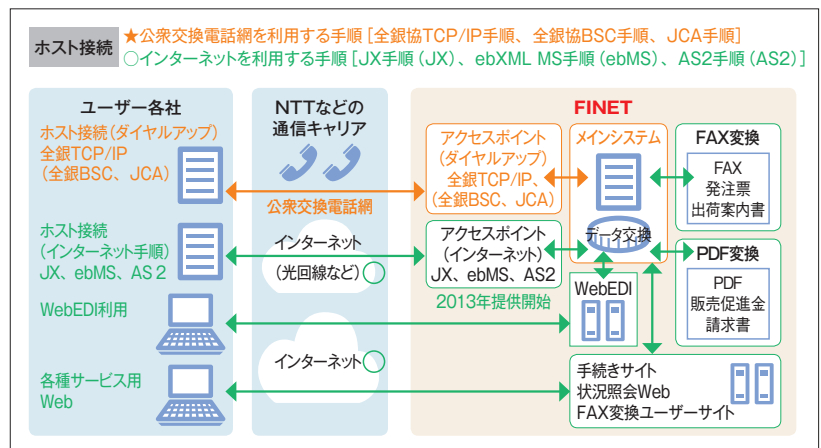
日本は世界に先駆けてブロードバンドネットワークの普及に取り組んできました。その結果、2011年時点で世帯カバー率100% (移動体通信を除いた場合99.2%) を達成しています。一方で、従来からのサービスを提供するためのPSTNは継続して維持されていますが、これを利用する固定電話利用者も激減 (2003年度に5954万契約⇒2013年度には2637万契約) しており、NTTにおける大きな負担*となっています。

またNTTは、本年7月31日にフレッツ・ADSLのサービス新規申込受付終了 (2016/6/30迄受付) を発表しており、より高速な光回線へ誘導しているところです。

* NTT東日本・NTT西日本の合計でPSTN設備に3817億円、メタル設備に7100億円かかっている。(2009年度報告より)

どうすればいいの?

現時点では詳細なスケジュールは発表されていませんが、2020年度後半に使えなくなる機器・サービスがあります。この直前に設備の移行を実施すると駆け込み需要などの影響で計画通り実施できなくなる可能性があります。また、通信設備を導入するに当たり償却期間を考慮すると、これから従来の機器と同じものを購入した場合には償却前に使えなくなるのが想定され、おすすめできません。

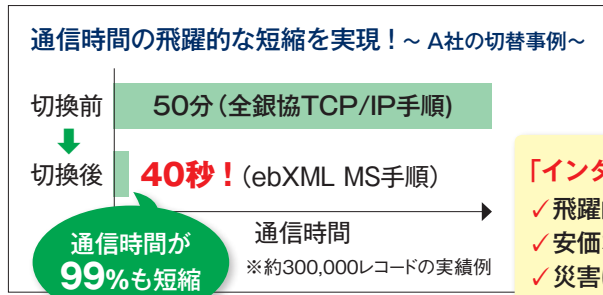


現在、ファイネットで提供している「インターネット手順」では、「PSTNマイグレーション」で使えなくなる機器を使わずに、現行のEDIを継続することができます。システム・設備への投資や見直しの適切なタイミングで、出来るだけ早期に「インターネット手順」への移行をお勧めいたします。

「インターネット手順」はどんなもの？

インターネット手順は、インターネットを使ってEDIをすることができるため、高速な回線を選択することが可能です。また、インターネットが持つ「災害に強い」などの特徴がそのまま活かされます。

ファイネットでは、3つのインターネット手順をサポートしています。



「インターネット手順」のメリット

- ✓ 飛躍的、圧倒的な通信速度向上
- ✓ 安価な通信費用
- ✓ 災害に強い通信インフラの利用
- ✓ 海外からの接続が可能

システム環境に合わせて、いずれかの手順への移行をご検討ください

通信手順	利用ユーザー数 (8月末時点)	接続方法	通信速度	導入費用	導入難易度
JX手順	28社	PULL型*2	10M～100Mbps	安価	比較的容易
ebXML MS手順	13社	PUSH型*3	10M～100Mbps	高価	高
AS2手順	5社	PUSH型*3	10M～100Mbps	高価	高

*2 PULL型：ユーザー様から接続し送受信する方式(従来の手順と同じ方式)

*3 PUSH型：ユーザー様が送信する場合はユーザー様から接続し、ユーザー様が受信する場合はファイネットから接続する方式

『インターネット手順』申込みは簡単です！

『インターネット手順』のお申込み方法

- Step 1** ユーザー様より「ステーション追加」のお申し込み(手続きサイト) (下図、参照)
- Step 2** ファイネットより設定内容のご通知(郵送)
- Step 3** ユーザー様とファイネット間での事前接続確認テスト
- Step 4** ユーザー様よりインターネット手順切替のお申込み(手続きサイト)
- Step 5** ご利用開始

手続きサイト ステーション追加

▼Web申込	
業務名	
ステーション追加	送受信する拠点(支店・営業所・ホスト接続の場合は、通信事前に「入力項目リスト」参照) ・商品流通VAN インターネット手順 全銀TCP/IP,全銀協
ステーション更新	既存ステーションコードの
ステーション削除	ステーションコードを削除

インターネット手順(3種)の選択が可能です。

- JX手順
- ebXML MS手順
- AS2手順

通信手順	選択してください
通信回線	JX手順 ebXML MS手順 AS2手順
RS信号制御	全銀協TCP/IP手順 全銀協(PC)TCP/IP手順
ノードID	選択してください

「ステーション追加」は、手続きサイトからお申込みいただけます。

▶PDF変換サービスにつきましては、2015年11月よりインターネット手順への対応を予定しています。

サポート開始(2013年10月)以来、46社(2015年8月31日現在)のユーザー様にて「インターネット手順」をご利用いただいております。通信環境の見直し・改善をお考えの際は、多くのメリットがある「インターネット手順」をご検討ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問合せください。

- PSTNマイグレーションについて：(株)ファイネット 企画部 kikakukaihatu@finet.co.jp
- 申込手順など：ヘルプデスクまで ☎0120-091-094(受付時間 7:30～23:00)

第3回 [全4回]

EDIの
すすめ

EDⅠを最近始めた、
あるいはEDⅠ比率をもっと増やしたいと
お考えの皆様へ

業界各社の業務効率化・情報伝達のスピードアップを目指して

これまでこのコーナーでは、ちょうどEDIを始めたばかり、あるいは今後もっと本格的にEDIを活用して業務の効率化を図ろうとお考えの皆様に向けて、改めてファイネットのVANサービスについて概要をご説明しました。

連載3回目の今回は、実際に企業間でやり取りされているデータ種についてご紹介いたします。各データ種とも、一般社団法人日本加工食品卸協会が業界標準として定める『日食協標準EDIフォーマット』を使用しています。

1. 主要データ種

		メーカー	卸店
受発注	卸店からメーカーへの発注データ	受注データ	発注データ
出荷案内	メーカーから卸店への納品内容通知	売掛金データ	買掛金データ
販売実績	卸店から取引先への納品実績データ	販売実績データ	倉出データ
販売促進金	メーカーと卸店間で取決めた販促条件	販売促進金支払	販売促進金請求
その他	出荷予定・在庫報告・請求 など		

2. データ種ごとのメリット

受発注 **メーカー**: 電話、FAXでの受注入力作業を廃止することで受注業務の集約が可能。FAX返信費用等も不要となり、コスト削減につながります。人的ミス（転記・入力ミス）による誤配送／欠品も削減できます。

卸店: 発注業務を省力化でき、返信FAXの確認も必要なくなります。

出荷案内 **メーカー**: 出荷案内書（紙）の仕分け作業・発送業務を廃止できます。発注No.付きのデータで渡すことで、卸側の照合業務が正確化・早期化され、売掛金の不突合削減につながります。

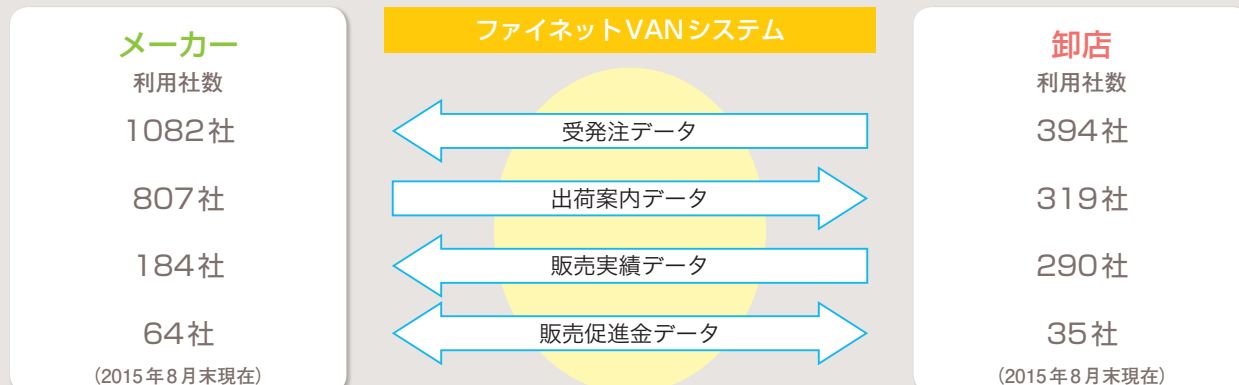
卸店: 発注No.付きのデータでもらうことで、仕入計上・買掛照合業務が正確化・早期化します。また、直送先への売上請求データ作成の正確性向上・迅速化が可能となります。

販売実績 **メーカー**: セールスプロモーションの効果測定、販売目標の進捗管理、マーケティング施策の立案、生産需要の予測、販売促進金の確認作業等を速やかに且つ正確に行うこと、などが可能です。【明細型】=日次と【集約型】=月次があります。

卸店: 担当者ごとの作業を軽減することが可能です。

販売促進金 **メーカー・卸店**: 請求・支払照合の正確性向上による違算率の低減につながります。また社内システムへの入力作業の軽減、ペーパーレス化によるコストダウンを実現できます。

「商品流通VAN」データの流れ



今回はEDIに関連する、他の様々なサービスについてご紹介いたします。

連載2回目の2015年春号 (Vol.34) では、酒類・加工食品業界の【標準化】を推進する「酒類・加工食品業界標準化推進会議」についてご紹介しました。今号では、重要な検討テーマの1つである「コード」の【標準化】についてご紹介いたします。

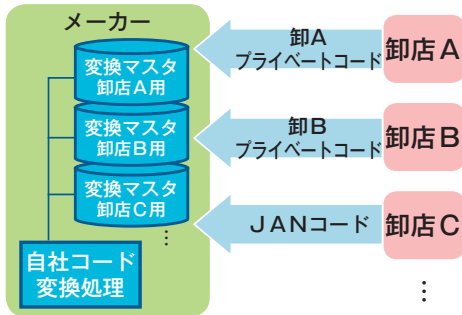
「電子データ交換 (EDI)」を始める当事者間で最初に確認することは、データにセットする「コード」を何にするか、ということです。

1 2つの「コード」

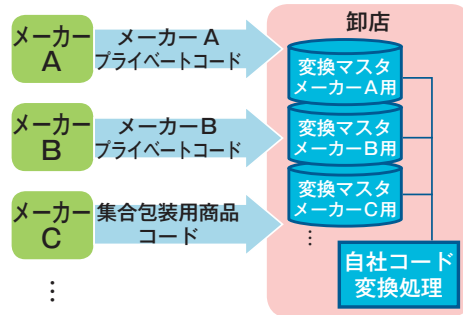
メーカーと卸店との間のEDIで利用する主要な「コード」は、2つあります。1つは商品を識別する「商品コード」、もう1つはメーカーや卸店のほか小売店舗など、企業や場所を示す「事業所コード」です。

これまでは、相手先ごとに自社コードに変換する作業が必須であり、その変換マスタのメンテナンス業務を含む変換作業に業界全体(メーカーも卸店も)で莫大なコストを掛けています。たとえば、以下の図のようになっています。

「受発注」の商品コードでは…



「出荷案内」の商品コードでは…



商品コード	企業ごとに異なるメーカー・卸プライベートコードの他に、JANコード、集合包装用商品コード* ¹ 、SDPコード* ² があります。JANコードで商品を一意に特定することが難しい場合* ³ では、粒度が細かいプライベートコードやSDPコードが使われています。
事業所コード	企業ごとに異なるメーカー・卸プライベートコードの他に、統一取引先コード* ⁴ が利用されています。

*1: ITFシンボルでケースに印刷されることが多く、俗に「ITFコード」と呼ばれることがあります。ITFは、「Inter-Leaved Two of Five」【意味: 5本のバーのうち、さし挟んだ2本のバーが太い】の略称です。*2: 主に酒類業界で利用されています。*3: パッケージ違い (日本代表応援缶など) などを区別しようとする場合があります。*4: 酒類食品全国コードセンター (SSZCC) が管理・運営しています。

2 国際標準の2つの「コード」

◇商品コード ~ GTIN (Global Trade Item Number)

JANコードや集合包装用商品コードなどの商品を識別するためのコードの総称です。

◇事業所コード ~ GLN (Global Location Number)

企業・事業所を識別するためのコードです。日本では、まだ一部の利用に留まっており、自社製品を持たない卸店・小売業などでの付番が課題となっています。

いずれも (一財) 流通システム開発センターからGS1事業者コード (JAN企業コード) の貸与が必要です。

参考URL: http://www.dsri.jp/baredi/gtin/gsl_code.htm

3 当業界における実績と状況

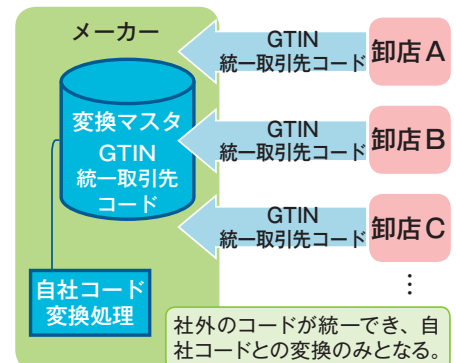
「酒類・加工食品業界標準化推進会議」では、「商品コード」に「GTIN」を利用したEDIを普及すべくガイドラインを策定し、活用が始まっています。

また当業界共通の「事業所コード」として、「統一取引先コード」を活用していくとしています。現時点において41万件ものコードを保有し、その網羅性とともに十分な運用実績を評価しました。

「GTIN」「統一取引先コード」を使ったEDIの普及は、未だこれからです。プライベートコードをなくし、業界全体のコスト削減を実現することが重要です。

詳細は、<http://www.finet.co.jp/hyojyunka/index.html>を参照してください。

EDI上からプライベートコードがなくなるとして、たとえば、「販売実績」では…



社外のコードが統一でき、自社コードとの変換のみとなる。

次回は、商品情報の授受に関して、当社の標準化推進活動をご紹介してまいります。

資材VAN WebEDIご利用ユーザー様へ

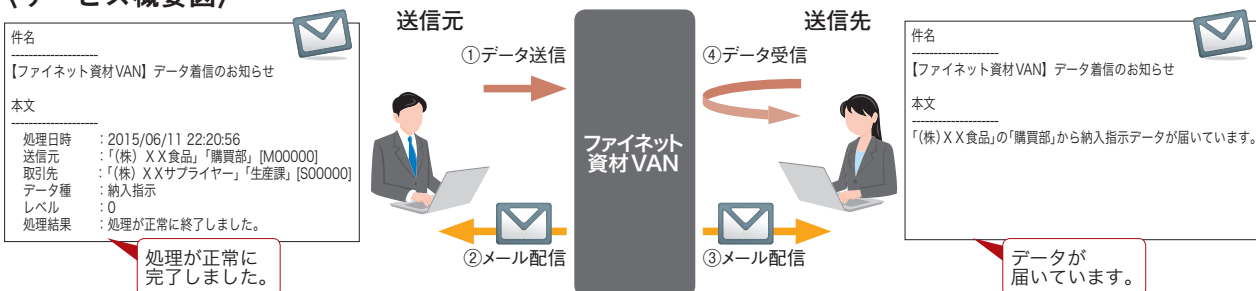
～『インフォメーションメール設定』通知先メールアドレス登録数変更についてのお知らせ!～

ファイネットでは、資材VANサービスの機能強化とユーザー様の利便性向上を目的として、2015年6月12日（金）より、WebEDI『インフォメーションメール設定』の通知先メールアドレスを3つまで登録できるようにいたしました。今回は、その『インフォメーションメール設定』についてご紹介いたします。

◆サービス概要

『インフォメーションメール設定』とは、資材VAN WebEDIにおいて、取引先からのデータ着信や自社が送信したデータの送信結果をメールにてお知らせする機能となります。

〈サービス概要図〉

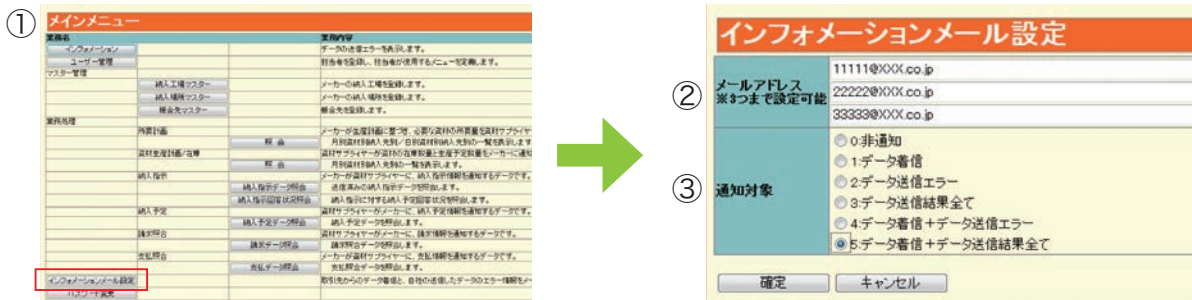


〔インフォメーションメールの流れ〕

- ① 送信元ユーザー様よりデータがファイネット資材VANに送信されます。
- ② 資材VANより送信元ユーザー様に、振分結果のお知らせメールを配信します。
- ③ 資材VANにて振分処理が正常の場合、送信先ユーザー様にデータ着信のお知らせメールを配信します。
- ④ 送信先ユーザー様は、メール内容をご確認のうえ、データの受信を行います。

◆設定方法

「インフォメーションメール設定」のご利用にあたっては、事前にユーザー様にて設定をしていただく必要があります。



〔設定方法〕

- ① 資材VAN WebEDIのメインメニューより、「インフォメーションメール設定」メニューを押下します。
- ② 通知先メールアドレスを設定します。(最大3つまで設定が可能です)
- ③ 通知対象を選択します。(以下1～5より希望の番号をご選択ください)

0：非通知	メール通知を希望しない
1：データ着信	データ着信時にメール通知を希望
2：データ送信エラー	送信情報（送信エラー）を希望
3：データ送信結果全て	送信情報（送信完了+送信エラー）を希望
4：データ着信+データ送信エラー	データ着信+送信情報（送信エラー）を希望
5：データ着信+データ送信結果全て	データ着信+送信情報（送信完了+送信エラー）を希望



ご不明な点がございましたら、私たちファイネット ヘルプデスクまでお気軽にお問い合わせください。

☎ 0120-091-094 (受付時間 7:30～23:00)

情報セキュリティ強化のための 内部監査への取り組み

ファイネットは、ユーザー様からお預かりする情報資産を様々な脅威から守り、よりセキュリティを高めるために、国際規格である「ISO27001」を取得してから7年目になります。

国際規格「ISO27001」では、まず情報セキュリティ対策の計画を立て（PLAN）、対策の運用や管理をし（DO）、パフォーマンスの評価として内部監査を実施し（CHECK）、改善をしていきます（ACT）。

このPDCAサイクルを確実に実行することで、情報資産を守り続けることができるのです。その要となるのが、チェック機能である**内部監査**です。

▶ 誰が内部監査するのですか？

トップから任命された社内の情報セキュリティに精通した精鋭4名で**内部監査チーム**を結成し監査します。（写真①）

▶ いつやるのですか？

当社の内部監査は、**毎年7月中旬に約一週間をかけて**、実施しております。

もちろん、事前準備として最新の社外セミナー等に参加し各人の監査能力を高めております。（写真②）

▶ 誰を監査するのですか？

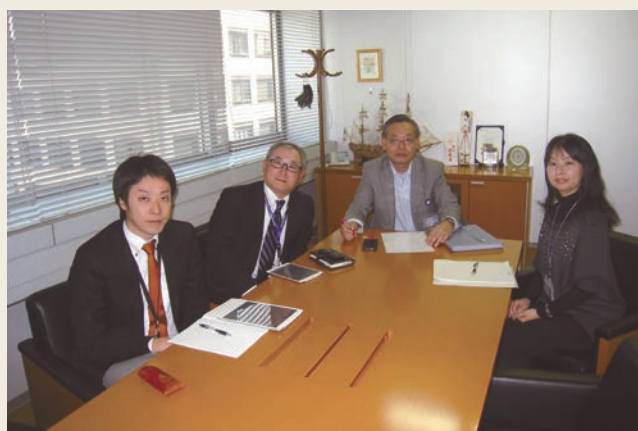
全部門が対象となります。経営者はもとより、情報セキュリティ責任者、中核である情報セキュリティ事務局、各部署である営業推進部、企画部、運用管理部、総務部まで監査します。

▶ 具体的な監査内容は？

- ①作成された計画が、国際規格「ISO27001」にあっているか。
- ②計画通り、運用、管理、実行されているか。
- ③前年の監査で指摘されたことが、改善されているか。



写真① 内部監査チーム結成



写真② 会議風景

そして、改善すべき指摘事項が、最終的には是正されるまで追求していく、いわば「**情報セキュリティのGメン**」として、我々内部監査チームは今後も活動を継続していきます。

[FINET ANNOUNCEMENT] ファイネット・アナウンスメント

毎月の請求書ダウンロードについて

弊社には、請求書が到着する前に、請求書をPDFにてダウンロード出来るサービスがございます。

また、【接続先】や【データ件数】の明細を確認出来る「テキストデータ」も、あわせてダウンロード出来ます。

是非、ご活用ください。

〈ご利用方法〉

(1)弊社、手続きサイトからのご利用となります。

手続きサイト URL <http://www.finet.co.jp/fts>

(2)ダウンロードご利用イメージ（画面に従ってお進みください）。



【お問い合わせ先】〔ファイネット ヘルプデスク〕

 **0120-091-094** (年中無休 7:30~23:00)

(総務部)

年末年始休業日のお知らせ

弊社の年末年始休業日は、右記の通りとなります。

ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

なお、ファイネット ヘルプデスクは通常通り、稼動しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

・年末年始休業日

2015年12月30日（水）～2016年1月3日（日）

〔ファイネット ヘルプデスク〕

商品流通VAN・資材VAN

 **0120-091-094**

(年中無休 7:30~23:00)

(総務部)

ファイン・ファイネット送付先等の変更について

今回、送付いたしております「ファイン・ファイネット」の宛名や部数等についてご変更がございましたら、右記の連絡先までご連絡ください。

〔ファイネット 営業推進部〕

Tel 03-5643-3450 / e-mail info@finet.co.jp

(総務部)



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.36 2015 Autumn 2015年10月1日発行

[発行] (株) ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 兜町偕成ビル7階 〒103-0026
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499 [編集・発行責任者] 小原 応孝



<http://www.finet.co.jp>